

◆パンセミナー(全4回)
小麦とライ麦は世界の食文化の中で大切な穀物です。ヨーロッパでは多様な形態のパンとして広く利用されています。このパンとヨーロッパの文化との関係をフィンランド、ルーマニア、ドイツ、イタリアの専門家が語ります。

▼第3回 2月23日(土)
「ドイツのパンー地方の特徴、そして伝説」
講師 森明子(国立民族学博物館教授)
▼第4回 3月9日(土)
「イタリアの日常生活とパン」
講師 宇田川妙子(国立民族学博物館准教授)

各回とも
時間 14時30分～16時(受付開始14時15分)
会場 国立民族学博物館 食堂(本館1階)
参加費 一人あたり500円
対象 中学生以上
定員 一回につき40名
※有料、要申込
申込締切 第3回、第4回 2月8日(金)
第3回、第4回 2月8日(金)

特別展
「マダガスカル霧の森のくらし」
マダガスカル島の東に広がる熱帯雨林から、山をのぼって標高1000メートルあり。そこにある霧の森では、人ひとが森に寄りそって生きています。釘を使わず建てられ、幾何学的な意匠が刻まれた木造家屋。なんの変哲もない静かなくらしに伝わる、霧の森のものづくりをご覧ください。
会期 3月14日(木)～6月11日(火)

「やっぱりヨーロッパ」春のみんなくフォーラム2013」
会期 3月23日(土)まで
多様な歴史・文化・信仰から生み出された生活様式、近代の産業化を可能にした労働の力たち、現代のグローバル化による人の移動と文化の交流が生み出す創造力。ヨーロッパの魅力がさまざまなイベントを通してご紹介します。

国際研究フォーラム
「バルト海周辺地域の日本コレクションⅢ」
日時 ①2月2日(土) 10時30分～16時45分
(開場10時)
②2月3日(日) 10時30分～16時30分
(開場10時)
会場 第4セミナー室
定員 60名
※参加無料、申込不要、同時通訳あり

国際シンポジウム
「モンゴル国における鉱業開発の諸問題——歴史的視点から」
日時 2月15日(金) 10時～18時
会場 第4セミナー室
※参加無料、要申込、同時通訳あり

みんなくフォーラム

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13時30分～15時(13時開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は観覧料が必要です)
第417回 2月16日(土)
「春のみんなくフォーラム2013」関連
変わるヨーロッパの言語地図
——多言語「社会から多言語」社会へ
講師 庄司博史(国立民族学博物館教授)



20世紀後半以降ヨーロッパの多くの国では、移民の増加や地域的少数言語運動の活発化により、さまざまな多文化社会のなかで顕在化はじめています。ヨーロッパ発祥の「一言語主義はどこにむかうのでしょうか。」



現在、先進国ではどこでも少子化と高齢化の問題が深刻化し、様々なレベルで家族関係を考え直そうとする機運が高まっています。なかでも日本の状況とよく似ているイタリアの家族事情を紹介しながら、家族のこれからの考えます。

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (平日9時～17時) FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/ e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員登録必須)
第417回 3月2日(土) 14時～15時
フィールドワークを語る
ヨソモノが感じ、考えたこと
講師 小林繁樹(国立民族学博物館教授)
ニューギニアの贈物交換活動とヤップ島のサアという情報伝達についての調査が、私の最初の研究課題でした。「人は何を、どのように伝えあっているのか」という問いについて、ヨソモノが調査において遭遇したエピソードを交えながらお話しします。

第418回 4月6日(土) 14時～15時
特別展「マダガスカル霧の森のくらし」関連
マダガスカル中央高地のザフィマニリ文化
講師 飯田卓(国立民族学博物館准教授)
アフリカ地域にありながら、東南アジアからの文化的影響も受けてきたマダガスカル島。そう聞くときエキソチックなようですが、どこかしら日本の山村を思わせるような一面もあります。霧の森にくらすザフィマニリの人びとを紹介いたします。

東京講演会

会場 JICA市ヶ谷ビル セミナールーム600
定員 80名(要申込)
第105回 3月30日(土) 14時～16時
特別展「マダガスカル 霧の森のくらし」関連
何処にもある何処にもない世界 マダガスカル
講師 深澤秀夫(東京外国語大学教授)
飯田卓(国立民族学博物館准教授)

マダガスカルにはインド洋を行き交ったアジア、アフリカアラブ、ヨーロッパの人ひとの「千年余りの「記憶」が随所に刻まれています。言葉や生活文化を丁寧によみとくことで、文献には記されていないその歴史にせまります。

主催催物の案内希望の有無(次の①～③のうち希望する番号)▼①講演会を含む民博主催の催物の案内を希望する▼②講演会のみ案内を希望する▼③いずれの案内も希望しない)を書いて、ハガキ、FAX、メールにて左記「研究協力係」までお申し込みください。
FAX 06・6878・8479
E-mail: koenkai@dc.minpaku.ac.jp
お問い合わせ先
研究協力係 研究協力係
電話 06・6878・8209

刊行物紹介
■坂本龍一・塚田健一・川瀬慈・分藤大翼 他 著
『Traditional Music in Africa
(schola第11巻「アフリカの伝統音楽」)』
Commons 定価:8,925円
この本ではアフリカの伝統音楽を「ミニマル・ミュージック」という新たな観点からとらえ、ある種のポストモダンな音の世界として提示しました。添付CDには、日本ではまだ紹介されたことのない、研究者によるアフリカでの貴重なフィールドレコーディングも含まれています。

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ

電話 06-6876-3112
FAX 06-6876-0875
e-mail shop@senri-f.or.jp
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/

マダガスカル ザフィマニリの椅子

3月14日から特別展「マダガスカル霧の森のくらし」が開催されます。
ザフィマニリの人たちのくらしと木彫り作品をつうじて生活に息づく技術や伝承について考える展示です。
ユネスコ無形文化遺産に指定された、ザフィマニリの人たちの木彫り。その代表が、幾何学模様を彫りこんだ組み立て式椅子です。幾何学模様はもともと木造家屋に彫られていたもので、椅子の様式は20世紀にアフリカ大陸部からとり入れられました。
いまショップでは、このザフィマニリの木彫りの椅子の予約製作販売を承っております(数量限定)。実物をショップに展示しております。



販売価格 2万円(予定)